

けいそうどペイント
ローラー工法
標準施工要領書

フジワラ化学株式会社

けいそうどペイント ローラー工法 標準施工要領

適用下地及び下地処理

石膏プラスターボード

- ・石膏プラスターボードは突き付け貼りし、取り付け釘はステンレス製のものをご使用ください。
- ・平ボード・ベベルボード・テーパーボード等のジョイント及び出隅・入隅にはテープ状の寒冷紗貼り・パテ処理・ペーパー処理し、平滑に調整してください。
- ・※ 標準仕様は樹脂系パテとなります。平滑度を保つことができ、かつ耐水性のあるものを使用してください。
- ・※ 石膏系パテを使用する場合は必ずシーラーWを施工し、充分乾燥させてください。

ケイカル板下地

- ・ケイカル板を突き付け貼りし、石膏プラスターボードと同様のジョイント処理後、全面に水引き調整用シーラー（シーラーW等）を塗布してください。

コンクリート打放し

- ・コンクリート打放し面は、事前に凸部のサンダー処理及び凹部（段違い・ジャンカ巣穴及びコーナーの欠損部等）の樹脂モルタル補修後、全面を樹脂モルタルまたはセメントフィラーで補修してください。
- ※ セメントフィラー等、セメント分が多いものを使用した場合、エフロレッセンスが出る可能性があります。セメントフィラー施工後にシーラーWを塗布し、充分乾燥させてください。
- ・十分な乾燥時間をとってください。（含水率：10%以下）

コンパネ等木系下地

- ・石膏プラスターボードと同様のジョイント処理後、全面をアク止め水系シーラー（アクドメール PRO）を塗布してください。

養生

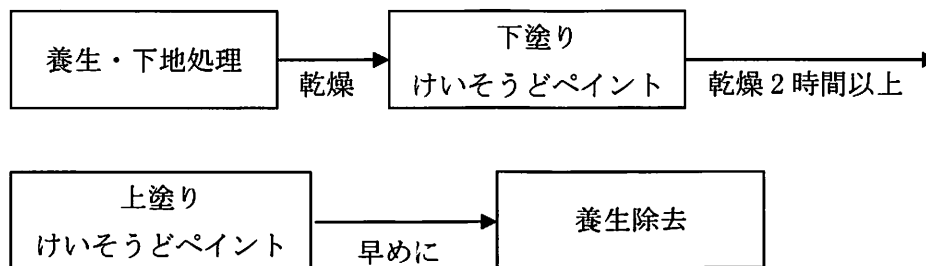
- ・施工面以外に材料が付着しないように養生テープ・ビニール等で十分に養生してください。
(その際、施工面から数 mm 逃げて養生してください。)
- ・ペイント塗装面等は、粘着力の小さなテープで捨貼りして養生してください。

材料の調整

- ・下塗り及び上塗りに使用するけいそうどペイントは、適量の水を加え、ハンドミキサー等で十分に攪拌して使用してください。

施工

ローラー工法



① 下・上塗り

- ・調整したけいそうどペイントを、中毛ウールローラー等で均一に塗布してください。
(所要量：2回塗り 0.4 kg/m²)

《 標準仕様 》

ローラー工法

工 程	材 料	調 合 ^{※1} (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗り 回数	間 隔 時 間(h) ^{※2}		
					工程内	工程間	最終養生
1	下塗り	けいそうどペイント	6 kg	1	2以上		
		清 水	0~0.07 L				
2	上塗り	けいそうどペイント	6 kg	1			24以上
		清 水	0~0.07 L				

※1 18kg/缶の場合の清水量は0~0.2L

※2 工程間間隔は、標準時(20℃・65%)を想定。

使用材料

※ ()内の数字は1缶あたりの施工面積です

- ・ けいそうどペイント ... 6 kg/ポリ缶 (15.0 m²)、18 kg/缶 (45.0 m²)

注意事項

- ・ 施工時の気温が 5℃以下、湿度が 85%以上、結露が考えられる場合は施工しないでください。
- ・ 施工に際しては、風や直射日光を防ぐためにシート養生を行い、施工準備をしてください。
- ・ 材料は凍結、直射日光を避けて保管してください。
- ・ 使用した器具は乾燥しないうちに水洗いしてください。

◀ 下地等に関する注意 ▶

- ・ 下地は十分に乾燥していることが必要です。表面の弱い下地は下塗り材等で補強してください。
- ・ 石膏ボード等のジョイント処理は、仕上材が薄膜のため段差が出来ないように平滑に仕上げてください。
- ・ 錆の出る恐れのある箇所には錆止めをしてください。
- ・ アク・シミの出る恐れのある箇所にはアク止めをしてください。
- ・ 下地の汚れ（レイトンス・油分等）は完全に除去してください。
- ・ 欠損部は樹脂モルタル等で部分補修してください。
- ・ シーリング部の上も合わせて施工する場合、シーリング材の種類としてはノンブリードタイプのシーリング材のご使用をお勧めします。